

右年料請内膳司漬造、至于明年三月、更易鹽糟、數隨殊多少、假如殘薑一石、料鹽一斗、糟五斗之類、始當年九月、迄明年七月、供之、

〔庵丁聞書〕一生姜鱸は、雪鱸のごとくもりて、上におろし生姜を懸て出す也、

一同波に引生姜を組付る事は、穢の氣を去との事也、此ゆへに用ゆ、

〔毛吹草三〕山城。干姜 生姜

〔和漢三才圖會九十九〕生薑

生薑處々皆有之、山州綺田カハタ平尾、殿村之産雖稍老、而肥大無筋、肥州長崎、因州長柄之産亦不劣、

〔成形圖說二十四〕波自加美略

乾生薑延喜主計式、越前薑見えたり、今藥肆中乾薑と呼ものは、三河遠江わたりより出す、外白、内

竊黒に、堅實ものなり、遠江薑名高し、又近來生乾薑と呼ものあり、皆切片て日乾藥用に用ふ、伊

豫の産を良とす、

〔延喜式二十四〕越前國略

中男作物略中薑

〔延喜式十五〕諸國年料供進

干薑小一百斤 薑種十石 右遠江國交易所進

〔延喜式二十三〕交易雜物 遠江國中略斤種薑十石

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

遠江國十三種略中 干姜八十六斤

〔二宮年中行事三月〕三日種薑御贄事

遠江國濱名神戸所課也、宮司正月一日遣符、今日於離宮院奉送、二宮分配、方々、目代祝部散行也、

薑產地